

政治学研究科 博士前期課程

■一般入試 (A 日程・B 日程)

「学力検査等の内容」

筆記試験 (総合問題※1 (60 分)、専門科目※2 (90 分))、面接 (1 人あたり 20 分程度)

- ※1 英語と総合問題の2題が出題されます。
- ※2 志望する研究コースにより異なります。
 - 日本政治・政策研究コース:「政治学」又は「行政学」(出願時にいずれか1つを選択)
 - 国際関係・地域研究コース:「国際政治」、「アメリカ」、「ヨーロッパ」又は「東アジア」(出願時にいずれか1つを選択)
 - 社会・公共領域研究コース:「社会学」「社会心理学」「政治思想史」又は「公共哲学」(出願時にいずれか1つを選択)

「合否判定の方法及び基準」

筆記試験及び面接により総合的に合否判定を行います。

■学内推薦 (A 日程・B 日程)

「学力検査等の内容」

面接※1

- ※1 本学法学部の3年次までの学業成績が、政治科及び法学科のそれぞれ GPA を基準とする成績上位30位以内の者のみ受験可。

「合否判定の方法及び基準」

学業成績及び面接により合否判定を行います。

■学内推薦 FT コース3年次卒業向け

「学力検査等の内容」

学業成績※1

- ※1 以下の要件をすべて満たす者のみが選考対象。
 - ・ダブル・クラスタ選択であること
 - ・FT チュートリアルIの単位を修得していること
 - ・FT 論文の単位を修得する見込みであること

「合否判定の方法及び基準」

本学法学部政治学科 FT コース修了者で全履修科目(「特別選抜コース」開設科目を含めた、選択必修・選択・自由科目)の GPA が3.0以上の者のみ、合否判定を行います。※2

- ※2 出願時に GPA が3.0以上であっても、卒業判定時にこれを下回った場合、選考から外れる。

■学内推薦 FT コース 4 年次卒業向け

「学力検査等の内容」

学業成績による選考

※1 FT 論文の単位を修得した又は取得見込みであること。

「合否判定の方法及び基準」

学業成績にて合否判定を行います。

■社会人入試 (A 日程・B 日程)

「学力検査等の内容」

第1次選考	書類選考
最終選考	筆記試験／総合問題※1 (120分)、面接 (1人あたり20分程度)

※1 英語と総合問題の2題が出題されます。

「合否判定の方法及び基準」

第1次選考	出願書類にて合否判定を行います。
最終選考	筆記試験及び面接により、総合的に合否判定を行います。